

## 事業評価書目次（令和4年度）

[温暖化対策統括本部]

| 款項目   | 評価書番号 | 事業名                            |
|-------|-------|--------------------------------|
| 8-2-4 | 1     | 再生可能エネルギー活用戦略推進事業              |
| 8-2-4 | 2     | 地球温暖化対策実行計画推進事業                |
| 8-2-4 | 3     | ヨコハマ・エコ・スクール推進事業               |
| 8-2-4 | 4     | 国内外地域連携推進事業                    |
| 8-2-4 | 5     | 地球温暖化対策の連鎖づくり推進事業（広報・普及啓発推進事業） |
| 8-2-4 | 6     | 市役所RE100推進事業（公共施設のLED化推進事業）    |
| 8-2-4 | 7     | 次世代自動車先進都市推進事業                 |
| 8-2-4 | 8     | 横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）          |
| 8-2-4 | 9     | SDGs 未来都市推進プロジェクト事業            |
| 8-2-4 | 10    | SDGs bizサポート事業                 |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |
|       |       |                                |

令和4年度事業評価書

|                    |                      |  |  |  |                  |                      |            |
|--------------------|----------------------|--|--|--|------------------|----------------------|------------|
| 令和3年度<br>事業名       |                      | 8款 2項 4目<br>再生可能エネルギー活用戦略推進事業  |  | 所管区局・課                                     | 温暖化対策統括本部<br>調整課 | 令和4年度<br>事業評価書<br>番号 | 8-2-4<br>1 |
| 事業概要               | 実施根拠                 | 法令等<br>■ 法律 ■ 条例 □ 規則<br>その他 ■   | 具体的<br>名称  | 地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市中期4か年計画、横浜市地球温暖化対策実行計画 |                  |                      |            |
|                    | 事業の目的<br>(事業開始の経緯)   | 本市では、2018年10月に改定した横浜市地球温暖化対策実行計画において、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現を地球温暖化対策の目指す姿(ゴール)として掲げている。また、「Zero Carbon Yokohama」の姿をより具体化するとともに、その実現に向けた取組・検討課題を示した「横浜市再生可能エネルギー活用戦略」を2020年5月に策定した。これらに基づき、再生可能エネルギーの普及促進等の取組を推進する必要がある。  |  |  |                  |                      |            |
|                    | 具体的な<br>事業内容         | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業者の脱炭素に対する意識や取組状況に関する調査を実施し、ガイドラインを作成。</li> <li>市内事業者向けに、「再エネ電気」供給メニューを一元的に紹介する情報発信を実施。</li> <li>市民向けの再生可能エネルギー切替キャンペーンについて、SNS等を活用した切替促進を実施。</li> <li>連携協定を締結している東北13市町村と実証事業及び物産展を実施。</li> </ul> <p>本事業は右記に該当するため、以降の記載を一部省略します。 □ 法令に基づく義務的経費 □ 内部事務経費のみ</p>                                      |  |  |                  |                      |            |
| 事業実績               | 達成指標                 | 指標名(単位)  |  | 平成30年度実績                                   | 令和元年度実績          | 令和2年度実績              | 令和3年度実績    |
|                    |                      | 再エネ導入拡大検討・実施   | 目標   | —  | —                | —                    | 検討・推進      |
|                    |                      |  | 実績   | —  | —                | —                    | 推進・実施      |
|                    |                      | 再エネ電気切替普及促進  | 目標   | —  | —                | —                    | 推進         |
|                    | 実績                   |  | —  | —  | —                | 推進・実施                |            |
|                    | 上記の指標で定量的な設定が困難な理由   |  | 再生可能エネルギー普及促進に向けた新たな取組としてしくみづくりや状況調査を推進・実施したため、定性的な指標設定としているが、推進結果等を踏まえた定量的な指標を導入予定。 |  |                  |                      |            |
|                    | 予算額・執行額、事業費の推移       | 現計予算額  |  | 平成30年度                                     | 令和元年度            | 令和2年度                | 令和3年度      |
|                    |                      | 支出済額   |  |  |                  |                      | 40,286千円   |
|                    |                      | 繰越額  |  |  |                  |                      | 0千円        |
|                    |                      | 差▲引  |  |  |                  |                      | 24,942千円   |
| 執行率(%)             |                      |  |  |  | 38%              |                      |            |
| 人件費                |                      | 一般職職員  |  |  |                  |                      | 1.0人       |
|                    |                      | 再任用職員  |  |  |                  |                      | 0.0人       |
|                    |                      | 概算人件費  |  |  |                  |                      | 8,823千円    |
| 総事業費               |                      |  |  |  | 24,167千円         |                      |            |
| 増▲減                |                      | —  |  |  | 24,167千円         |                      |            |
| 事業評価の視点による点検・検証・評価 | 本市が行う必要性             | 横浜市域から排出される温室効果ガスの総排出量を2030年度までに50%削減(2013年度比)、2050年にゼロを目指す「Zero Carbon Yokohama」の実現のためには、市内事業者や市民一人一人が脱炭素に取り組む必要がある。それらの第一歩となる機会の提供や、市内にとどまらない広域連携による再生可能エネルギーの利用促進は、本市が取り組む必要がある。  |  |  |                  |                      |            |
|                    | 事業目的に対する有効性          | 全市民的なキャンペーンの実施に加え、事業者及び他自治体と連携したより広範囲にわたる普及促進に取り組んだ。また市内企業の99%以上を占める中小企業において、意欲はありながらも「知識・ノウハウ不足」等が課題となり脱炭素に取り組めていない実態を踏まえ、企業経営の脱炭素化を後押しする「市内中小企業向け脱炭素ガイドライン」を作成した。  |  |  |                  |                      |            |
|                    | 本事業の効率性・類似性          | 市内事業者向けの再エネ電気への切替え促進については、これまで再エネ切替キャンペーンを実施してきたが、神奈川県においても同趣旨の事業を開始している。令和4年度は神奈川県との連携を開始し、より一層市内事業者の再エネ電気への切替えを促進していく。市民向けの再生可能エネルギー普及は別事業でも取り組んでいるため、事業内容を精査し効率性を高めていく必要がある。また経済局が実施している市内中小企業向けの事業に合わせた脱炭素ガイドラインを活用した普及啓発、Y-SDGs金融タスクフォースを通じた金融機関への情報提供など、関係局や様々な団体と連携した効果的な取組を進めている。連携協定に基づく催事は人的物的交流の一環であるが、本市においては来場者への広報活動や普及促進の好機となる。 |  |  |                  |                      |            |
|                    | 市民等外部意見を聴取する仕組みと反映状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無<br>事業者向けに実施した「脱炭素化・SDGsに関する意識調査」の結果を踏まえるとともに、金融機関等と連携し「市内中小企業向け脱炭素ガイドライン」を作成した。   |  |  |                  |                      |            |
|                    | 自己評価及び事業見直しの方向性      | 意識調査で市内中小企業の現状や意識を把握できたことで、脱炭素ガイドラインの作成に向けたターゲットが明確化された。今後は、必要に応じて調査を実施し、市内中小企業の意識変化を把握するとともに、様々な団体や金融機関等と連携しながら脱炭素経営を後押ししていく。また、「Zero Carbon Yokohama」実現に向けては、市域外から再生可能エネルギーの導入拡大は重要であるため、東北13市町村との「再生可能エネルギーに関する連携協定」に基づく取組を進めていく。催事等においては、連携協定に掲げる「脱炭素化の推進を通じた住民・地域企業主体の相互の地域活力の創出」に連なる継続的な取組との認識に立つての事業運営が求められる。                           |  |  |                  |                      |            |

|                    |       |       |       |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 本資料は、公正・適正に作成しました。 | 課長    | 係長    | 係     |
|                    | 東田 建治 | 園原 亜希 | 杉山 知佳 |

## 令和4年度事業評価書

|                              |  |   |  |  |  |                    |          |
|------------------------------|--|---|--|--|--|--------------------|----------|
| 令和3年度<br>事業名                 | 8 款 2 項 4 目  |   | 所管区局・課   | 温暖化対策統括本部<br>調整課                           | 令和4年度<br>事業評価書番号                         | 8 - 2 - 4          |          |
|                              | 地球温暖化対策実行計画推進事業  |   |  |  | 政策番号                                     | 10                 |          |
|                              |  |   |  |  | 主な施策(事業)番号                               | 2                  |          |
| 事業概要                         | 実施根拠   | 法令等   | <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 | 具体的<br>名称                                  | 地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応方針、横浜市地球温暖化対策実行計画 |                    |          |
|                              |  | その他   | <input checked="" type="checkbox"/>  |  |  |                    |          |
|                              | 事業の目的  | 中期計画  | 政策   | 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造                  |  |                    |          |
|                              |  | 施策(事業)  | 温暖化対策等の強化と国内外への展開  |  |  |                    |          |
| 具体的な<br>事業内容                 | <p>パリ協定の発効や、国の地球温暖化対策計画の策定等、国内外の動向を踏まえ、「横浜市地球温暖化対策実行計画」を平成30年度に改定した。また、計画で示した2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現を目指し、取組を推進する。</p> <p>・横浜市地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、改定に向けた検討を開始した。<br/>・世界的にプレゼンスの高い国際会議等を活用し、取組を発信した。</p> |   |  |  |  |                    |          |
| 事業実績                         | 中期4か年計画の指標、想定事業量   | 指標  |  | 計画策定時                                      | 令和3年度                                    | 目標値                |          |
|                              |  | 市域の温室効果ガス排出量  |  | 1,734万t-CO <sub>2</sub> /年(19.7%減)(27年度※1) | 25年度比28.8%減(R2年度)※1                      | 25年度比22%減(令和2年度)※1 |          |
|                              |  | 想定事業量   |  | 計画策定時                                      | 令和3年度                                    | 目標値                |          |
|                              |  | 国際会議等への参加回数   |  | 7回/年(29年度)                                 | 7回/年                                     | 24回(4か年)           |          |
|                              | 備考   | ※1 25年度排出量(2,159万t-CO <sub>2</sub> /年)に対する削減割合。最新の年度については速報値による数値を掲載  |  |  |  |                    |          |
|                              | 予算額・執行額、事業費の推移   |   |  | 平成30年度                                     | 令和元年度                                    | 令和2年度              | 令和3年度    |
|                              |  | 現計予算額   |  | 48,024千円                                   | 75,950千円                                 | 120,120千円          | 11,290千円 |
|                              |  | 支出済額  |  | 36,646千円                                   | 32,467千円                                 | 92,729千円           | 12,208千円 |
|                              |  | 繰越額   |  | 0千円  | 0千円                                      | 0千円                | 0千円      |
|                              |  | 差▲引   |  | 11,378千円                                   | 43,483千円                                 | 27,391千円           | △ 918千円  |
| 執行率(%)                       |  | 76%   | 43%  | 77%  | 108%                                     |                    |          |
| 人件費                          |  | 一般職職員   | 4.0人   | 4.0人                                       | 4.0人                                     | 4.0人               |          |
|                              |  | 再任用職員   | 0.0人   | 0.0人                                       | 0.0人                                     | 0.0人               |          |
|                              | 概算人件費  | 35,140千円  | 35,292千円   | 35,292千円                                   | 35,292千円                                 |                    |          |
| 総事業費                         |  | 71,786千円  | 67,759千円   | 128,021千円                                  | 47,500千円                                 |                    |          |
| 増▲減                          |  | —   | ▲ 4,027千円  | 60,262千円                                   | ▲ 80,521千円                               |                    |          |
| 事業評価の視点による点検・検証・評価           | 本市が行う必要性   | 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく法定計画である「横浜市地球温暖化対策実行計画」に基づき行う事業であるため。(温対法第21条第3項抜粋) 都道府県並びに地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百五十二条の十九第一項の指定都市及び同法第二百五十二条の二十二第一項の中核市(以下「指定都市等」という。)は、地方公共団体実行計画において、前項に掲げる事項のほか、その区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項として次に掲げるものを定めるものとする。 |  |  |  |                    |          |
|                              | 事業目的に対する有効性  | 温室効果ガス排出量の削減等について目標を掲げ、対策・施策を明確にすることにより、市民・事業者・市が一体となって温暖化対策に取り組んでいくことができる。   |  |  |  |                    |          |
|                              | 本事業の効率性・類似性  | 事業の一部について、相当の能力を有する業者に委託することにより効率化を図った。   |  |  |  |                    |          |
|                              | 市民等外部意見を聴取する仕組みと反映状況   | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無  | パブリックコメントの結果をふまえて改定した横浜市地球温暖化対策実行計画に従って各取組を推進している。また、環境創造審議会等で進捗状況及び計画改定の概要を報告し、意見を聴取している。     |  |  |                    |          |
|                              | 自己評価及び事業見直しの方向性  | パブリックコメントを経て市民・事業者等の意見を反映した横浜市地球温暖化対策実行計画に基づき、脱炭素化に向けた取組を推進するとともに、環境創造審議会での意見をふまえながら取組を進めていく。また、計画改定については、パブリックコメントや環境創造審議会の意見を踏まえながら検討を進め、脱炭素化に向けた取組を示すものとして公表を予定している。   |  |  |  |                    |          |
| 中期4か年計画の目標・方向性を踏まえた具体的な成果や課題 | 横浜市地球温暖化対策実行計画で掲げた「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、国の温室効果ガス削減目標の改定等を踏まえ、本市の実行計画の改定の方向性をとりまとめた。   |   |  |  |  |                    |          |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。           | 課長   | 東田 建治   | 係長   | 吉田 光                                       | 係  | 望月 ゆか              |          |

## 令和4年度事業評価書

|                                      |  |  |  |              |                   |  |                |  |
|--------------------------------------|--|--|--|--------------|-------------------|--|----------------|--|
| 令和3年度<br>事業名                         |  | 8 款 2 項 4 目<br>ヨコハマ・エコ・スクール推進事業  |  | 所管区局・課       | 温暖化対策統括本部<br>調整課  | 令和4年度<br>事業評価書番号                           | 8 - 2 - 4<br>3 |  |
|                                      |  |  |  |              |                   | 政策番号                                       | 12             |  |
|                                      |  |  |  |              |                   | 主な施策(事業)番号                                 | 1              |  |
| 事業概要                                 | 実施根拠   | 法令等  | <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 |              | 具体的な<br>名称        | 地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜市中期4か年計画 |                |  |
|                                      |  | その他  | <input checked="" type="checkbox"/>  |              |                   |  |                |  |
|                                      | 中期計画   | 政策   | 環境にやさしいライフスタイルの実践と定着   |              |                   |  |                |  |
|                                      |  | 施策(事業)   | 環境にやさしいライフスタイルの広報・啓発   |              |                   |  |                |  |
| 事業の目的                                | 市民団体、事業者、大学、行政等が実施する温暖化対策やエコライフスタイルに関する講座やイベント等の「学びの場」を支援し、「ヨコハマ・エコ・スクール(YES)」という統一ブランドを活用して、「Zero Carbon Yokohama」を全市的ムーブメントに広げる。   |  |  |              |                   |  |                |  |
| 具体的な<br>事業内容                         | 産学民官の多彩な組織が参画するYES協働パートナーや各区局と連携し、講座、セミナー、シンポジウム、イベントなど参加型の学習機会の提供と、WEBや紙媒体等による普及啓発を企画、展開した。   |  |  |              |                   |  |                |  |
| 事業実績                                 | 中期4か年計画の指標、想定事業量   | 指標   |  | 計画策定時        | 令和3年度             | 目標値  |                |  |
|                                      |  | —  |  | —            | —                 | —  |                |  |
|                                      |  | 想定事業量  |  | 計画策定時        | 令和3年度             | 目標値  |                |  |
|                                      |  | 出前講座等の実施回数   |  | 381回/年(29年度) | 281回(1,097回(4か年)) | 1,440回(4か年)                                |                |  |
|                                      | 備考   | ※本事業は、政策の目標・方向性に直接寄与するため、指標の記載はいたしません。<br>※政策12・主な施策3・想定事業量①「温暖化対策の取組に参加した人数」の達成にも関連。  |  |              |                   |  |                |  |
|                                      | 予算額・<br>執行額、<br>事業費の<br>推移   |  |  | 平成30年度       | 令和元年度             | 令和2年度                                      | 令和3年度          |  |
|                                      |  | 現計予算額  |  | 7,849千円      | 6,481千円           | 5,097千円                                    | 2,186千円        |  |
|                                      |  | 支出済額   |  | 6,798千円      | 6,038千円           | 4,201千円                                    | 1,685千円        |  |
|                                      |  | 繰越額  |  | 0千円          | 0千円               | 0千円  | 0千円            |  |
|                                      |  | 差▲引  |  | 1,051千円      | 443千円             | 896千円                                      | 501千円          |  |
| 執行率(%)                               |  | 87%  | 93%  | 82%          | 77%               |  |                |  |
| 人件費                                  |  | 一般職員   | 1.0人   | 1.0人         | 1.0人              | 1.0人                                       |                |  |
|                                      |  | 再任用職員  | 0.0人   | 0.0人         | 0.0人              | 0.0人                                       |                |  |
|                                      | 概算人件費  | 8,785千円  | 8,823千円  | 8,823千円      | 8,823千円           |  |                |  |
| 総事業費                                 |  | 15,583千円   | 14,861千円   | 13,024千円     | 10,508千円          |  |                |  |
| 増▲減                                  |  | —  | ▲ 722千円  | ▲ 1,837千円    | ▲ 2,516千円         |  |                |  |
| 事業評価の<br>視点による<br>点検・<br>検証・<br>評価   | 本市が行う<br>必要性   | YESの取組は、中期4か年計画の施策「環境にやさしいエコライフスタイルの実践」に位置付けられており、本取組の主旨に賛同した市民活動団体、企業、大学等がYES協働パートナーとして登録している(令和4年5月現在165団体)。温暖化対策の市民参加型プラットフォームとして産学民官の様々な団体の環境学習・環境行動に関する多様なニーズに対応している。また環境学習に取り組む人材の育成やネットワーク形成等に寄与しており、一層の効果的な普及啓発のため、本市が中心となってYESに取り組む必要がある。 |  |              |                   |  |                |  |
|                                      | 事業目的に<br>対する有効<br>性  | 大学や市民団体、事業者等と連携しながら市民に多様な学びと行動の場を提供することで、効果的に温暖化対策の普及啓発を図ることが出来ており、YES協働パートナー数や本事業における出前講座開催数増加等の成果が上がっている。  |  |              |                   |  |                |  |
|                                      | 本事業の<br>効率性・<br>類似性  | 国における環境教育・環境学習の動向等を見極めながら、YESの運営方法の効率化等を検討するとともに、関係部局や大学、市民団体、事業者等と更なる連携を図りながら、類似事業との位置づけを検証したうえで、より効果的に事業を推進する必要がある。  |  |              |                   |  |                |  |
|                                      | 市民等外部<br>意見を聴取<br>する仕組みと<br>反映状況   | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無<br>YES協働パートナーとの定期的な意見交換や、講座等参加者のアンケートでの意見やアイデアを生かすことで、魅力的な講座を提供できるように努めている。   |  |              |                   |  |                |  |
|                                      | 自己評価<br>及び<br>事業見直しの<br>方向性  | 区局やYES協働パートナーとの連携により、多様な「学びの場」を提供している。引き続き市民参加型のプラットフォーム事業として効率的・効果的に事業を推進する。また、より幅広い層の市民への訴求を図るため、集客力のあるテーマや講座開催方法等、さらに効果的に普及啓発を図ることができる手法の検討を進める。  |  |              |                   |  |                |  |
| 中期4か年計画の<br>目標・方向性を踏まえた<br>具体的な成果や課題 | 市民や企業等と連携しながら環境・地球温暖化に関する講座やイベント等を行い、広報・普及啓発に取り組んだ。またYES協働パートナー向けの交流会やスキルアップ講座などにより、YES協働パートナーへの支援強化を図った。また、協働パートナーの活動の場の拡大を目的に、紹介冊子の作成・配布や、具体的な活動の場を提供した。引き続き、協働パートナーの支援や「Zero Carbon Yokohama」を全市的ムーブメントにするため更なる取組の強化を進めていく。 |  |  |              |                   |  |                |  |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。                   |  |  |  | 課長           | 係長                | 係  |                |  |
|                                      |  |  |  | 東田 建治        | 園原 亜希             | 杉山 知佳                                      |                |  |

令和4年度事業評価書

|                                      |   |  |  |            |                  |                                 |                |  |
|--------------------------------------|---|--|--|------------|------------------|---------------------------------|----------------|--|
| 令和3年度<br>事業名                         |   | 8 款 2 項 4 目<br>国内外地域連携推進事業   |  | 所管区局・課     | 温暖化対策統括本部<br>調整課 | 令和4年度<br>事業評価書番号                | 8 - 2 - 4<br>4 |  |
|                                      |   |  |  |            |                  | 政策番号                            | 10             |  |
|                                      |   |  |  |            |                  | 主な施策(事業)番号                      | 2              |  |
| 事業概要                                 | 実施根拠  | 法令等  | <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 |            | 具体的な<br>名称       | 地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市地球温暖化対策実行計画 |                |  |
|                                      |   | その他  | <input checked="" type="checkbox"/>  |            |                  |                                 |                |  |
|                                      | 中期計画  | 政策   | 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造  |            |                  |                                 |                |  |
|                                      |   | 施策(事業)   | 温暖化対策等の強化と国内外への展開  |            |                  |                                 |                |  |
| 事業の目的                                | 平成20年7月に政府から「環境モデル都市」に選定されたことを踏まえ、他の自治体との連携推進に向けた取組を開始した。また、平成20年度にC40(世界大都市気候先導グループ)に本市が加盟したことを踏まえ、本市の温暖化対策分野の施策・取組に関する海外への情報発信・他都市との知見の共有を開始した。 |  |  |            |                  |                                 |                |  |
| 具体的な<br>事業内容                         | 平成21年度から当該事業を開始。横浜スマートシティプロジェクトをはじめとする本市の温暖化施策について、国際会議等を通じた海外発信や、国際ネットワーク及び都市間協力での連携に重点を置き、事業を展開した。  |  |  |            |                  |                                 |                |  |
| 事業実績                                 | 中期4か年計画の指標、想定事業量  | 指標   |  | 計画策定時      | 令和3年度            | 目標値                             |                |  |
|                                      |   | -  |  | -          | -                | -                               |                |  |
|                                      |   | 想定事業量  |  | 計画策定時      | 令和3年度            | 目標値                             |                |  |
|                                      |   | 国際会議等への参加回数  |  | 7回/年(29年度) | 7回(34回(4か年))     | 24回(4か年)                        |                |  |
|                                      | 備考  | ※本事業は、政策の目標・方向性に直接寄与するため、指標の記載はしません。   |  |            |                  |                                 |                |  |
|                                      | 予算額・<br>執行額、<br>事業費の<br>推移  |  |  | 平成30年度     | 令和元年度            | 令和2年度                           | 令和3年度          |  |
|                                      |   | 現計予算額  |  | 6,440千円    | 5,925千円          | 5,085千円                         | 22,684千円       |  |
|                                      |   | 支出済額   |  | 7,980千円    | 5,889千円          | 3,534千円                         | 13,555千円       |  |
|                                      |   | 繰越額  |  | 0千円        | 0千円              | 0千円                             | 0千円            |  |
|                                      |   | 差▲引  |  | △ 1,540千円  | 36千円             | 1,551千円                         | 9,129千円        |  |
| 執行率(%)                               |   | 124%   | 99%  | 69%        | 60%              |                                 |                |  |
| 人件費                                  |   | 一般職職員  |  | 1.0人       | 1.0人             | 1.0人                            | 1.0人           |  |
|                                      |   | 再任用職員  |  | 0.0人       | 0.0人             | 0.0人                            | 0.0人           |  |
|                                      | 概算人件費   |  | 8,785千円  | 8,823千円    | 8,823千円          | 8,823千円                         |                |  |
| 総事業費                                 |   | 16,765千円   | 14,712千円   | 12,357千円   | 22,378千円         |                                 |                |  |
| 増▲減                                  |   | -  | ▲ 2,053千円  | ▲ 2,355千円  | 10,021千円         |                                 |                |  |
| 事業評価の<br>視点による<br>点検・<br>検証・<br>評価   | 本市が行う<br>必要性  | 国内外の都市や企業、NPO等との連携によって進めるべき温暖化対策について、重大な遅延が生じることが懸念される。  |  |            |                  |                                 |                |  |
|                                      | 事業目的に<br>対する有効<br>性   | 国内外の都市等との連携や、国際会議などの場を活用し、Zero Carbon YokohamaやSDGs未来都市、横浜スマートシティプロジェクトをはじめとする本市の温暖化対策に関する取組を発信することで、本市のプレゼンスを高め、本市を温暖化対策のイノベーションハブとして確立させることに繋げる。     |  |            |                  |                                 |                |  |
|                                      | 本事業の<br>効率性・<br>類似性   | 人員が限られた中で膨大な量の作業をこなしているため、業務の効率化とともに、選択と集中が求められる。  |  |            |                  |                                 |                |  |
|                                      | 市民等外部<br>意見を聴取<br>する仕組みと<br>反映状況  | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無<br>視察対応やオンラインでの意見交換の際にフィードバックを得る。さらに各種アワード等に応募し、世界での評価を問うことにより、客観的な評価を施策に反映させることができる。 |  |            |                  |                                 |                |  |
|                                      | 自己評価<br>及び<br>事業見直し<br>の方向性   | 人員・予算に限りがあるため、本市のプレゼンス向上につながる成果が期待できることや、双方にとってメリットがある等の観点から、重点的に取り組む相手や分野を絞って都市間連携を進めていくことが重要である。   |  |            |                  |                                 |                |  |
| 中期4か年計画の<br>目標・方向性を踏まえた<br>具体的な成果や課題 | アジア・スマートシティ会議などの国際会議の場において本市の温暖化対策の取組を発信することで、本市のプレゼンスを向上させることができた。引き続き、このような場を活用し、積極的に発信していく。  |  |  |            |                  |                                 |                |  |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。                   |   |  |  | 課長         | 係長               | 係                               |                |  |
|                                      |   |  |  | 東田 建治      | 園原 亜希            | 樋山 敦子                           |                |  |

令和4年度事業評価書

|  |   |   |   |  |                              |   |                |  |
|--|---|---|---|--|------------------------------|---|----------------|--|
| 令和3年度<br>事業名                               |   | 8 款 2 項 4 目<br>地球温暖化対策の連鎖づくり推進事業(広報・普及啓発推進事業)   |   | 所管区局・課   | 温暖化対策統括本部調<br>整課             | 令和4年度<br>事業評価書番号                                    | 8 - 2 - 4<br>5 |  |
|  |   |   |   |  |                              | 政策番号  | 12             |  |
|  |   |   |   |  |                              | 主な施策(事業)番号  | 3              |  |
| 事業<br>概要                                   | 実施根拠  | 法令等   | <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 |  | 具体的<br>名称                    | 地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市生活環境の保<br>全等に関する条例、横浜市温暖化対策実行計画 |                |  |
|  |   | その他   | <input checked="" type="checkbox"/>   |  |                              |   |                |  |
|  | 事業の目的   | 中期計画  | 政策  | 環境にやさしいライフスタイルの実践と定着   |                              |   |                |  |
|  |   | 施策(事業)  | 市民・企業等との協働による温暖化対策の促進   |  |                              |   |                |  |
| 具体的な<br>事業内容                               | 横浜市地球温暖化対策実行計画で掲げる2050年までの脱炭素化の実現に向け、COOL CHOICE YOKOHAMAの旗印のもと、国と<br>連動した「COOL CHOICE」を推進するとともに、市民・事業者を対象に、省エネ行動の促進、再生可能エネルギーの利用転換を進め、<br>脱炭素化に向けた温暖化対策の連鎖づくりを進める。 |   |   |  |                              |   |                |  |
|  |   | ・CO <sub>2</sub> 排出総量削減に向けた、家庭部門を中心とした市民啓発キャンペーン等の実施<br>・地域団体や事業者等と連携した普及啓発イベント、広報の実施<br>・啓発物品の作成と効果的な活用  |   |  |                              |   |                |  |
| 事業<br>実績                                   | 中期4か年計<br>画の指標、想<br>定事業量  | 指 標   |   | 計画策定時  | 令和3年度                        | 目標値   |                |  |
|  |   | 横浜市と連携して温暖化対策を進める企業・市民等の団体数   |   | 426団体(29年度)  | 580団体                        | 500団体   |                |  |
|  |   | 想定事業量   |   | 計画策定時  | 令和3年度                        | 目標値   |                |  |
|  |   | 温暖化対策の取組に参加した人数   |   | 約34,000人/年(29年度)   | 約52,000人<br>(約171,000人(4か年)) | 約160,000人(4か年)                                      |                |  |
|  | 備考  |   |   |  |                              |   |                |  |
|  | 予算額・<br>執行額、<br>事業費の<br>推移  |   |   | 平成30年度   | 令和元年度                        | 令和2年度   | 令和3年度          |  |
|  |   | 現計予算額   |   | 6,096千円  | 5,608千円                      | 4,486千円   | 13,138千円       |  |
|  |   | 支出済額  |   | 4,655千円  | 5,011千円                      | 3,661千円   | 11,026千円       |  |
|  |   | 繰越額   |   | 0千円  | 0千円                          | 0千円   | 0千円            |  |
|  |   | 差▲引   |   | 1,441千円  | 597千円                        | 825千円   | 2,112千円        |  |
| 執行率(%)                                     |   | 76%   | 89%   | 82%  | 84%                          |   |                |  |
| 人<br>件<br>費                                |   | 一般職職員   |   | 1.0人   | 1.0人                         | 1.0人  | 1.0人           |  |
|  |   | 再任用職員   |   | 0.0人   | 0.0人                         | 0.0人  | 0.0人           |  |
|  | 概算人件費   |   | 8,785千円   | 8,823千円  | 8,823千円                      | 8,823千円   |                |  |
| 総事業費                                       |   | 13,440千円  | 13,834千円  | 12,484千円   | 19,849千円                     |   |                |  |
| 増▲減  |   | —   | 394千円   | ▲1,350千円   | 7,365千円                      |   |                |  |
| 事業<br>評価の<br>視点に<br>よる点<br>検・検<br>証・評<br>価 | 本市が行う<br>必要性  | 横浜市温暖化対策実行計画において、本市が目指す温暖化対策のゴール「Zero Carbon Yokohama」実現に向けて、横浜市域から排<br>出される温室効果ガスの総排出量を2030年度までに50%削減(2013年度比)すること、2050年には実質ゼロにすることを目標としてい<br>る。目標達成には市民や事業者の脱炭素化に向けた取組が不可欠であり、それらの促進や意識醸成の機会創出には本市が取り組む<br>必要がある。 |   |  |                              |   |                |  |
|  | 事業目的に<br>対する有効<br>性   | 市全体を対象としたイベント・キャンペーンの実施や、地域で活動する市民団体や事業者等様々な主体との連携を通じて、市民が脱炭<br>素化について考え、取り組むきっかけづくりが出来た。   |   |  |                              |   |                |  |
|  | 本事業の<br>効率性・<br>類似性   | 再生可能エネルギーへの切替促進等、他の類似事業との住み分けを明確にし、より効果的な広報・普及啓発を行っていく必要がある。  |   |  |                              |   |                |  |
|  | 市民等外部<br>意見を聴取<br>する仕組みと<br>反映状況  | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無  |   | 温暖化対策実行計画の改定を進めている中、横浜市温暖化対策事業者協議会に参加している事業者と、改定に向けた基本的な方向<br>に対する意見交換会を行った。 |                              |   |                |  |
|  | 自己評価<br>及び<br>事業見直し<br>の方向性   | 温暖化対策は、効果・成果が見えにくいことから日常生活等における具体的な取組がイメージづらいため、市民や事業者の行動変容<br>を促す普及啓発の内容や手法について、検討していく。  |   |  |                              |   |                |  |
| 中期4か年計画の<br>目標・方向性を踏まえた<br>具体的な成果や課題       | 地球温暖化対策の連鎖づくり推進事業(広報・普及啓発推進事業)については、横浜市と連携する団体数及び取組参加人数ど<br>ちらも目標値を達成することが出来ている。今後は多様な主体との連携に引き続き取り組むとともに、ターゲット層に合わせた効<br>果的かつ効率的な普及啓発の検討を行い、戦略的な事業展開に取り組んでいく。      |   |   |  |                              |   |                |  |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。                         |   |   | 課長  | 係長   | 係                            |   |                |  |
|  |   |   | 東田 建治   | 園原 亜希  | 杉山 知佳                        |   |                |  |

令和4年度事業評価書

|                              |  |   |  |  |                        |                                 |                |  |
|------------------------------|--|---|--|--|------------------------|---------------------------------|----------------|--|
| 令和3年度<br>事業名                 |  | 8 款 2 項 4 目<br>市役所RE100推進事業<br>(公共施設のLED化推進事業)  |  | 所管区局・課   | 温暖化対策統括本部<br>プロジェクト推進課 | 令和4年度<br>事業評価書番号                | 8 - 2 - 4<br>6 |  |
|                              |  |   |  |  |                        | 政策番号                            | 10             |  |
|                              |  |   |  |  |                        | 主な施策(事業)番号                      | 4              |  |
| 事業概要                         | 実施根拠   | 法令等   | <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 |  | 具体的な<br>名称             | 地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市地球温暖化対策実行計画 |                |  |
|                              |  | その他   | <input checked="" type="checkbox"/>  |  |                        |                                 |                |  |
|                              | 中期計画   | 政策  | 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造  |  |                        |                                 |                |  |
|                              |  | 施策(事業)  | 公共施設等の省エネの推進、再エネ等の導入・供給拠点化、水素の利活用  |  |                        |                                 |                |  |
| 事業の目的                        | 脱炭素化に向けた市役所の率先行動として、18区庁舎の使用電力の再エネ100%への転換を進める。これに合わせて省エネ効果が見込める区庁舎のLED化を進める。<br>なお、横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)において、公共施設のLED化は中心的な取組の一つとして位置づけられている。本市では、2030年までにLED化100%を目標に掲げており、その達成に向けて、公共施設のLED化を推進する。 |   |  |  |                        |                                 |                |  |
| 具体的な<br>事業内容                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>LED化手法の検討を行った。</li> <li>事業実施に向け、関係部署と調整を行った。</li> <li>区庁舎のLED化工事(1区)及び設計(1区)を行った。</li> </ul>  |   |  |  |                        |                                 |                |  |
| 事業実績                         | 中期4か年計画の指標、想定事業量   | 指標  |  | 計画策定時  | 令和3年度                  | 目標値                             |                |  |
|                              |  | 市域の温室効果ガス排出量  |  | 1,734万t-CO <sub>2</sub> /年(19.7%減※1)                             | 25年度比28.8%減(R2年度)※1    | 25年度比22%減(令和2年度)※1              |                |  |
|                              |  | 想定事業量   |  | 計画策定時  | 令和3年度                  | 目標値                             |                |  |
|                              |  | 公共施設のLED化率  |  | 21%(29年度)  | 集計中※2                  | 45%                             |                |  |
|                              | 備考   | ※1 25年度排出量(2,159万t-CO <sub>2</sub> /年)に対する削減割合。最新の年度については速報値による数値を掲載。<br>※2 3年度の事業量の集計は12月確定予定(参考:令和2年度末のLED化率は34%)。<br>※3 元年度に、8-2-4・2「地球温暖化対策実行計画推進事業」から事業を独立させた。 |  |  |                        |                                 |                |  |
|                              | 予算額・執行額、事業費の推移   |   |  | 平成30年度   | 令和元年度                  | 令和2年度                           | 令和3年度          |  |
|                              |  | 現計予算額   |  | (地球温暖化対策実行計画推進事業に含まれる)   | 10,573千円               | 10,573千円                        | 132,400千円      |  |
|                              |  | 支出済額  |  |  | 6,564千円                | 17,059千円                        | 128,387千円      |  |
|                              |  | 繰越額   |  | 0千円  | 0千円                    | 0千円                             | 0千円            |  |
|                              |  | 差▲引   |  | -  | 4,009千円                | △ 6,486千円                       | 4,013千円        |  |
| 執行率(%)                       |  | -   | 62%  | 161%   | 97%                    |                                 |                |  |
| 人件費                          |  | 一般職員  |  |  | 1.5人                   | 1.5人                            | 1.5人           |  |
|                              |  | 再任用職員   |  |  | 0.0人                   | 0.0人                            | 0.0人           |  |
|                              |  | 概算人件費   |  | 0千円  | 13,235千円               | 13,235千円                        | 13,235千円       |  |
| 総事業費                         |  | 0千円   | 19,799千円   | 30,294千円   | 141,622千円              |                                 |                |  |
| 増▲減                          |  | -   | 19,799千円   | 10,495千円   | 111,328千円              |                                 |                |  |
| 事業評価の視点による点検・検証・評価           | 本市が行う必要性   | 国が閣議決定した「2030年度にLEDを100%」の目標と同等の目標を平成29年に設定し、中期4か年計画と横浜市地球温暖化対策実行計画に位置付けて進めている。多数の公共施設を抱える事業者として当事業を積極的に進め、脱炭素化をはかる必要がある。   |  |  |                        |                                 |                |  |
|                              | 事業目的に対する有効性  | LED化は器具交換に係る初期投資が必要である一方、電気使用量が大幅に削減できる。市の財政状況が厳しい中、費用の平準化に資する手法の検討や、LED化による電気使用量削減効果のモニタリング及びCO <sub>2</sub> 削減効果の検証を実施することは、事業を計画的・効果的に進めるために有効である。               |  |  |                        |                                 |                |  |
|                              | 本事業の効率性・類似性  | 本事業が、LED化に関する市全体の取組について取りまとめて推進している。LED化を計画的に実施しつつ、事業手法や効率的な経費の執行方法などについて継続して精査し、取り組む必要がある。   |  |  |                        |                                 |                |  |
|                              | 市民等外部意見を聴取する仕組みと反映状況   | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  |  | 市民等外部意見を反映させる仕組みはないが、LED化を推進するためには施設管理者の意見が重要であるため、機会を捉えて聴取していく。 |                        |                                 |                |  |
|                              | 自己評価及び事業見直しの方向性  | 令和3年度から区庁舎のLED化工事を開始し、次年度以降も各区庁舎の設計・工事を計画的に進めていく。令和4年度からモデル事業として、ESCO事業等を活用したLED化を若干数実施する予定。今後も工事費用の平準化を実現できる他の手法の検討等を進め、関係部署と連携しながら計画的かつ効率的にLED化を推進する必要がある。        |  |  |                        |                                 |                |  |
| 中期4か年計画の目標・方向性を踏まえた具体的な成果や課題 | 目標としているLED化率については、令和2年度は目標36%を達成できなかった。関係部署と実施時期の調整を行い、より計画的かつ効率的にLED化を推進する。   |   |  |  |                        |                                 |                |  |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。           |  |   |  | 課長   | 係長                     | 係                               |                |  |
|                              |  |   |  | 松下 功   | 七呂 道輝                  | 古元 麻祐子                          |                |  |

令和4年度事業評価書

|                                      |   |  |  |  |                        |  |                |  |
|--------------------------------------|---|--|--|--|------------------------|--|----------------|--|
| 令和3年度<br>事業名                         |   | 8 款 2 項 4 目<br>次世代自動車先進都市推進事業  |  | 所管区局・課   | 温暖化対策統括本部<br>プロジェクト推進課 | 令和4年度<br>事業評価書番号                               | 8 - 2 - 4<br>7 |  |
|                                      |   |  |  |  |                        | 政策番号   | 10             |  |
|                                      |   |  |  |  |                        | 主な施策(事業)番号                                     | 6              |  |
| 事業概要                                 | 実施根拠  | 法令等  | <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 |  | 具体的な<br>名称             | 地球温暖化対策の推進に関する法律、SDGs未来都市計画、<br>横浜市地球温暖化対策実行計画 |                |  |
|                                      |   | その他  | <input checked="" type="checkbox"/>  |  |                        |  |                |  |
|                                      | 中期計画  | 政策   | 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造  |  |                        |  |                |  |
|                                      |   | 施策(事業)   | 低炭素型次世代交通の普及促進   |  |                        |  |                |  |
| 事業の目的                                | 運輸部門における温室効果ガスの約8割は、市民生活や事業活動における自動車利用により排出されているものであり、地球温暖化対策にとっては、自動車からのCO2排出削減が必要不可欠であることから、自動車の低炭素化に向けた取組を推進する。  |  |  |  |                        |  |                |  |
| 具体的な<br>事業内容                         | 青葉区しらとり台において、全国で初めて公道上にEV用充電器を設置し、公道に充電器を設置する際の課題や有用性について検証する実証実験を令和3年6月8日より開始した。   |  |  |  |                        |  |                |  |
| 事業実績                                 | 中期4か年計画の指標、想定事業量  | 指標   |  | 計画策定時  | 令和3年度                  | 目標値  |                |  |
|                                      |   | 市域の温室効果ガス排出量   |  | 1,734万t-CO2/年(19.7%減)(27年度)※1                  | 25年度比28.8%減(R2年度)※1    | 25年度比22%減(令和2年度)※1                             |                |  |
|                                      |   | 想定事業量  |  | 計画策定時  | 令和3年度                  | 目標値  |                |  |
|                                      |   | 次世代自動車普及台数   |  | 6,073台(累計)(29年度)                               | - ※2(累計)               | 10,000台(累計)                                    |                |  |
|                                      | 備考  | ※1 25年度排出量(2,159万t-CO2/年)に対する削減割合。最新の年度については速報値による数値を掲載<br>※2 令和3年度実績は9月公表予定(参考:令和2年度実績7,726台)<br>※3 想定事業量の策定時の数値、令和3年度実績、目標値は事業評価書番号8-3-1・4の事業と合算 |  |  |                        |  |                |  |
|                                      | 予算額・<br>執行額、<br>事業費の<br>推移  |  |  | 平成30年度   | 令和元年度                  | 令和2年度  | 令和3年度          |  |
|                                      |   | 現計予算額  |  | 10,373千円                                       | 6,736千円                | 5,864千円  | 5,278千円        |  |
|                                      |   | 支出済額   |  | 8,980千円  | 4,881千円                | 5,155千円  | 4,364千円        |  |
|                                      |   | 繰越額  |  | 0千円  | 0千円                    | 0千円  | 0千円            |  |
|                                      |   | 差▲引  |  | 1,393千円  | 1,855千円                | 709千円  | 914千円          |  |
| 執行率(%)                               |   | 87%  | 72%  | 88%  | 83%                    |  |                |  |
| 人件費                                  |   | 一般職職員  |  | 2.0人   | 2.0人                   | 2.0人   | 2.0人           |  |
|                                      |   | 再任用職員  |  | 0.0人   | 0.0人                   | 0.0人   | 0.0人           |  |
|                                      | 概算人件費   |  | 17,570千円   | 17,646千円                                       | 17,646千円               | 17,646千円                                       |                |  |
| 総事業費                                 |   | 26,550千円   | 22,527千円   | 22,801千円                                       | 22,010千円               |  |                |  |
| 増▲減                                  |   | -  | ▲ 4,023千円  | 274千円  | ▲ 791千円                |  |                |  |
| 事業評価の<br>視点による<br>点検・<br>検証・<br>評価   | 本市が行う<br>必要性  | 交通分野の脱炭素化には自動車における取組が重要で、行政の役割として、先導的な取組に対する支援が求められる。  |  |  |                        |  |                |  |
|                                      | 事業目的に<br>対する有効<br>性   | EV普及の進む欧州で一般的となっている充電器の公道設置は、都市部における貴重な充電場所になること、視認性がよく充電インフラが充実しているという安心感にもつながることから、EV化促進に貢献する有用な施策となる。   |  |  |                        |  |                |  |
|                                      | 本事業の<br>効率性・<br>類似性   | 民間事業者と「横浜市内のEV普及促進に向けた連携協定」を締結し、市内で電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHV)に乗りやすい環境整備や、充電インフラ拡大に資する新たな仕組みづくりとして、取り組んでいる。  |  |  |                        |  |                |  |
|                                      | 市民等外部<br>意見を聴取<br>する仕組みと<br>反映状況  | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無   |  | 実証実験を実現する中で、関係事業者へのヒアリング、利用実績や利用者の意見などを把握している。 |                        |  |                |  |
|                                      | 自己評価<br>及び<br>事業見直しの<br>方向性   | 本市の次世代自動車普及促進の取組を今後も更に推進するとともに、実証実験を通じて今後のあり方を検討していくことで、Zero Carbon YokohamaやSDGs未来都市横浜の実現に向けて、事業を実施していく。  |  |  |                        |  |                |  |
| 中期4か年計画の<br>目標・方向性を踏まえた<br>具体的な成果や課題 | 横浜市温暖化対策実行計画及び中期4か年計画に基づき、運輸部門からCO2を削減するため、次世代自動車の普及を推進。全国で初めて公道上にEV用充電器を設置し、公道に充電器を設置する際の課題や有用性について検証する実証実験を実施した。運輸部門における温室効果ガスの削減にあたっては、次世代自動車の普及は重要であり、充電インフラの拡充が不可欠である。 |  |  |  |                        |  |                |  |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。                   |   |  |  | 課長   | 係長                     | 係  |                |  |
|                                      |   |  |  | 松下 功   | 小室 達郎                  | 萩原 隆   |                |  |

令和4年度事業評価書

|                                      |   |   |  |  |                                |  |                |
|--------------------------------------|---|---|--|--|--------------------------------|--|----------------|
| 令和3年度<br>事業名                         |   | 8 款 2 項 4 目<br>横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)  |  | 所管区局・課   | 温暖化対策統括本部<br>プロジェクト推進課         | 令和4年度<br>事業評価書番号                                   | 8 - 2 - 4<br>8 |
|                                      |   |   |  |  |                                | 政策番号   | 10             |
|                                      |   |   |  |  |                                | 主な施策(事業)番号   | 3              |
| 事業概要                                 | 実施根拠  | 法令等   | <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 |  | 具体的な<br>名称                     | 地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市SDGs 未来都市<br>計画、横浜市地球温暖化対策実行計画 |                |
|                                      |   | その他   | <input checked="" type="checkbox"/>  |  |                                |  |                |
|                                      | 中期計画  | 政策  | 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造  |  |                                |  |                |
|                                      |   | 施策(事業)  | 公民連携による先進的な温暖化対策の推進  |  |                                |  |                |
| 事業の目的                                | 将来の脱炭素都市に寄与する次世代型エネルギーネットワーク等を普及・展開させ、横浜型の持続可能な脱炭素都市(横浜スマートシ<br>ティ)の構築をさらに加速させる。  |   |  |  |                                |  |                |
| 具体的な<br>事業内容                         | YSCPの実証成果を生かし、防災性、環境性、経済性に優れたエネルギー循環都市を実現させることを目的とした、公民連携組織「横<br>浜スマートビジネス協議会(YSBA)」の全体総合調整役として、年間を通じて円滑な運営を行った。また、令和元年度以降の新たな取組<br>を取りまとめたYSCP3.0マスタープランについて、計画の改定(YSCP3.2)を行うとともに、VPP構築事業、PPA事業などの取組も実施し<br>た。  |   |  |  |                                |  |                |
| 中期4か年計<br>画の指標、想<br>定事業量             | 指標  |   | 計画策定時  | 令和3年度  | 目標値                            |  |                |
|                                      | 市域の温室効果ガス排出量  |   | 1,734万t-CO <sub>2</sub> /年(19.7%減(平成27年度) <sup>※1</sup> )                                      | 25年度比28.8%減(2年度) <sup>※1</sup>                   | 25年度比22%減(令和2年度) <sup>※1</sup> |  |                |
|                                      | 想定事業量   |   | 計画策定時  | 令和3年度  | 目標値                            |  |                |
|                                      | 実証成果を活用したエネルギー連携拠点件数  |   | 22か所(累計)(平成29年度)   | 81か所(累計)   | 70か所(累計)                       |  |                |
|                                      | 備考  | ※1 25年度排出量(2,159万t-CO <sub>2</sub> /年)に対する削減割合。最新の年度については速報値による数値を掲<br>載  |  |  |                                |  |                |
| 事業実績                                 |   |   | 平成30年度   | 令和元年度  | 令和2年度                          | 令和3年度  |                |
|                                      | 現計予算額   |   | 24,214千円   | 21,793千円   | 19,815千円                       | 18,915千円   |                |
|                                      | 支出済額  |   | 28,861千円   | 19,386千円   | 13,143千円                       | 11,939千円   |                |
|                                      | 繰越額   |   | 0千円  | 0千円  | 0千円                            | 0千円  |                |
|                                      | 差▲引   |   | △ 4,647千円  | 2,407千円  | 6,672千円                        | 6,976千円  |                |
|                                      | 執行率(%)  |   | 119%   | 89%  | 66%                            | 63%  |                |
|                                      | 人件費   | 一般職職員   | 6.0人   | 6.0人   | 6.0人                           | 6.0人   |                |
|                                      |   | 再任用職員   | 0.0人   | 0.0人   | 0.0人                           | 0.0人   |                |
|                                      |   | 概算人件費   | 52,710千円   | 52,938千円   | 52,938千円                       | 52,938千円   |                |
|                                      | 総事業費  |   | 81,571千円   | 72,324千円   | 66,081千円                       | 64,877千円   |                |
| 増▲減                                  |   | —   | ▲ 9,247千円  | ▲ 6,243千円  | ▲ 1,204千円                      |  |                |
| 事業評価<br>の視点による<br>点検・評価              | 本市が行う<br>必要性  | 持続可能な脱炭素都市を実現するためには、市民・事業者・行政で連携・協働し取り組む必要がある。横浜スマートビジネス協議会<br>(YSBA)では、平成26年度まで実施した横浜スマートシティプロジェクトの実証実験の成果や知見を活かした実装化を公民連携で進め<br>ており、脱炭素化を進める上で必要な事業となっている。  |  |  |                                |  |                |
|                                      | 事業目的に<br>対する有効<br>性   | バーチャルパワープラント(VPP)構築事業の推進により、小中学校などに蓄電池を設置し、平常時はVPP運用による電力需給調整に<br>貢献し、非常時は防災用電源として活用することで、環境性・防災力・経済性に優れたエネルギー利用が図られる。また、上下水道施<br>設におけるデマンドレスポンスの実施により、夏季や冬季の厳しい気象条件での電力需給調整に大きく貢献できる。新たな取組として、<br>民間事業者が小中学校に太陽光発電設備等を設置し、発電された電気を本市が購入するPPA事業を実施し、CO <sub>2</sub> 排出量削減に大き<br>く貢献できる。 |  |  |                                |  |                |
|                                      | 本事業の<br>効率性・<br>類似性   | 複雑な実証実験の効果や事業について、市民・事業者・他都市へわかりやすく説明し更なる展開へ繋げていく必要がある。   |  |  |                                |  |                |
|                                      | 市民等外部<br>意見を聴取<br>する仕組みと<br>反映状況  | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無  |  | 横浜スマートビジネス協議会等で関係各社、関係各局と意見の集約を図り、プロジェクトを推進している。 |                                |  |                |
|                                      | 自己評価<br>及び<br>事業見直し<br>の方向性   | 市内公共施設でのカーボンマネジメント強化事業やVPP構築事業、PPA事業、公共施設及び民間施設でのエネルギーマネジメントに<br>よる取組は、環境性・防災力・経済性の向上を図る上で非常に有効であることから、横浜スマートビジネス協議会を通じ、引き続き推進<br>する。<br>また、このような取組を国内外に発信し、水平展開を図っていく。   |  |  |                                |  |                |
| 中期4か年計画の<br>目標・方向性を踏まえた<br>具体的な成果や課題 | バーチャルパワープラント(VPP)構築事業や上下水道施設におけるデマンドレスポンスの実施など、エネルギー連携拠点数は<br>81か所となり、中期4か年計画の目標(70か所)を達成した。さらに、再生可能エネルギーの拡大に向けて小中学校への太陽光<br>パネル等を設置するPPA事業により、太陽光発電設備及び蓄電池を小中学校11校に設置した。今後は、VPP構築事業、PPA事<br>業を計画的に展開するとともに、デマンドレスポンス等によるエネルギー連携など、更なるエネルギーマネジメントの展開を図っ<br>ていく。 |   |  |  |                                |  |                |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。                   |   |   | 課長   | 係長   | 係                              |  |                |
|                                      |   |   | 松下 功   | 名取 史記  | 山根 悟史                          |  |                |

令和4年度事業評価書

|                              |   |  |   |              |   |                  |            |  |
|------------------------------|---|--|---|--------------|---|------------------|------------|--|
| 令和3年度<br>事業名                 |   | 8款 2項 4目<br>SDGs未来都市推進プロジェクト事業   |   | 所管区局・課       | 温暖化対策統括本部<br>SDGs未来都市推進課                                | 令和4年度<br>事業評価書番号 | 8-2-4<br>9 |  |
|                              |   |  |   |              |   | 政策番号             | 10         |  |
|                              |   |  |   |              |   | 主な施策(事業)番号       | 1          |  |
| 事業概要                         | 実施根拠  | 法令等  | <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 | 具体的<br>名称    | 持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針改定版、SDGsアクションプラン2022、横浜市SDGs未来都市計画 |                  |            |  |
|                              |   | その他  | <input checked="" type="checkbox"/>   |              |   |                  |            |  |
|                              | 中期計画  | 政策   | 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造   |              |   |                  |            |  |
|                              |   | 施策(事業)   | SDGs未来都市の実現   |              |   |                  |            |  |
| 事業の目的                        | 日本のSDGsモデルを構築していく都市である「SDGs未来都市」及び、その中で特に先進的な事業として認められた「自治体SDGsモデル事業」の選定を受け、環境・経済・社会の統合的解決に向けた試行的取組の実施により、横浜型「大都市モデル」を創出し、国内外に発信する。   |  |   |              |   |                  |            |  |
| 具体的な<br>事業内容                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨコハマSDGsデザインセンターが中心となり、企業や団体等と連携して21件(4か年)の試行的取組を実施したほか、横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”を軸に、金融機関との連携による事業者等支援を実施した。</li> <li>・パーソナルモビリティの実装化を目指して、みなとみらい21地区にて実証実験を行った。</li> <li>・普及啓発素材(冊子、映像、キャラクターとの連携等)やWEBのほか、「環境絵日記展」等のイベントや企業・大学等への講演等を通じて、「SDGs未来都市・横浜」の取組を広く発信した。</li> </ul>                        |  |   |              |   |                  |            |  |
| 中期4か年計画の指標、想定事業量             | 指標  |  | 計画策定時   | 令和3年度        | 目標値   |                  |            |  |
|                              | -   |  | -   | -            | -   |                  |            |  |
|                              | 想定事業量   |  | 計画策定時   | 令和3年度        | 目標値   |                  |            |  |
|                              | 新たな試行的取組数   |  | -   | 6件(21件(4か年)) | 20件(4か年)  |                  |            |  |
|                              | 備考  | ※本事業は、政策の目標・方向性に直接寄与するため、指標の記載はしません。   |   |              |   |                  |            |  |
| 事業実績                         |   |  | 平成30年度  | 令和元年度        | 令和2年度   | 令和3年度            |            |  |
|                              | 現計予算額   |  | 166,000千円   | 137,343千円    | 126,006千円   | 91,647千円         |            |  |
|                              | 支出済額  |  | 118,274千円   | 127,221千円    | 110,612千円   | 84,885千円         |            |  |
|                              | 繰越額   |  | 0千円   | 0千円          | 0千円   | 0千円              |            |  |
|                              | 差▲引   |  | 47,726千円  | 10,122千円     | 15,394千円  | 6,762千円          |            |  |
|                              | 執行率(%)  |  | 71%   | 93%          | 88%   | 93%              |            |  |
|                              | 人件費   | 一般職員   | 2.0人  | 2.0人         | 2.0人  | 2.0人             |            |  |
|                              |   | 再任用職員  | 0.0人  | 0.0人         | 0.0人  | 0.0人             |            |  |
|                              |   | 概算人件費  | 17,570千円  | 17,646千円     | 17,646千円  | 17,646千円         |            |  |
|                              | 総事業費  |  | 135,844千円   | 144,867千円    | 128,258千円   | 102,531千円        |            |  |
| 増▲減                          |   | -  | 9,023千円   | ▲ 16,609千円   | ▲ 25,727千円  |                  |            |  |
| 事業評価の視点による点検・検証・評価           | 本市が行う必要性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の策定する「SDGsアクションプラン」においては「SDGsを原動力とした地方創生」に取り組むこととしており、2030年のSDGs達成に向けては、全ての自治体が積極的にSDGsの考え方を取り入れ、施策を推進していくことが重要である。</li> <li>・SDGsの達成に向けては市民や企業、大学など、多様な主体との協働により取り組むことが求められており、大都市として先進的な取組を推進し、広く展開していくためには、市がリーダーシップを発揮し、全体のコーディネーターとして取り組む必要がある。</li> </ul>           |   |              |   |                  |            |  |
|                              | 事業目的に対する有効性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインセンターの認知度向上により、多くのニーズ・シーズが集まってきており、新たな試行的取組の創出に繋がっている。</li> <li>・みなとみらい2050プロジェクトについては、パーソナルモビリティの実証実験を継続実施し、過年度のシェアリング結果を踏まえ、実用化を目指した取組が行っている。</li> <li>・企業や大学等での講演、鉄道事業者との連携やキャラクターを活用したPR、リサイクル団体との連携によるイベント開催など、多様な主体との連携により、幅広い世代に対しSDGsの取組の普及啓発が行っている。</li> </ul> |   |              |   |                  |            |  |
|                              | 本事業の効率性・類似性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインセンター事業運営については、複数の民間企業との協働により、それぞれの特色を運営に生かすことができるほか、効果的な情報発信ができています。</li> <li>・みなとみらい2050プロジェクトについては、パーソナルモビリティの実証実験を、地元企業・団体等が主体となって形成された協議会・実行委員会と協働して推進することで、市の負担を抑えることができています。</li> </ul>  |   |              |   |                  |            |  |
|                              | 市民等外部意見を聴取する仕組みと反映状況  | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府が実施しているSDGs未来都市計画の進捗評価において、「自治体SDGs推進評価・調査検討会」委員から、未来都市計画に係る取組へのアドバイスをいただき、事業等に反映している。</li> </ul>   |   |              |   |                  |            |  |
|                              | 自己評価及び事業見直しの方向性   | デザインセンターの開設から3年が経過し、令和3年12月にみなとみらい21地区に開設した新拠点も活用しながら、企業等との連携による様々な試行的取組や、SDGs認証制度“Y-SDGs”を軸とした金融機関等との連携による事業者等支援等の実施により、市民や事業者等のSDGsへの意識や取組は広がっている。2050年の脱炭素化、2030年のSDGsの達成に向けては、今後もさらに事業を拡充していく必要があるとともに、デザインセンターを持続可能な組織として運営していくために、提供するサービス等の有償化や、プロジェクトの実装化による歳入確保等の検討を行う必要がある。                              |   |              |   |                  |            |  |
| 中期4か年計画の目標・方向性を踏まえた具体的な成果や課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期4か年計画の初年度である平成30年度にデザインセンターを創設し、これまで企業や団体等との連携による様々な試行的取組を実施してきたほか(4か年:21件)、Y-SDGs等による企業等のSDGsや脱炭素の取組支援など、環境を軸とした社会・経済的課題の統合的解決に向けた取組を官民連携により進めることができた。</li> <li>・これまでの取組をさらに深化させ、広く普及させるために、みなとみらい21地区に開設したデザインセンター新拠点も活用しながら、民間事業者をはじめとした様々なステークホルダーとの連携を強化し、国内外に広く情報発信を行う必要がある。</li> </ul> |  |   |              |   |                  |            |  |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。           | 課長  | 係長   | 係   |              |   |                  |            |  |
|                              | 田村 康治   | 美田 真   | 国井 奈菜   |              |   |                  |            |  |

## 令和4年度事業評価書

|                                    |                                  |   |  |  |                      |                 |          |
|------------------------------------|----------------------------------|---|--|--|----------------------|-----------------|----------|
| 令和3年度<br>事業名                       | 8 款 2 項 4 目<br>SDGs bizサポート事業    |   | 所管区局・課   | 温暖化対策統括本部<br>SDGs未来都市推進課   | 令和4年度<br>事業評価書<br>番号 | 8 - 2 - 4<br>10 |          |
| 事業概要                               | 実施根拠                             | 法令等<br>□ 法律 □ 条例 □ 規則<br>その他 <input checked="" type="checkbox"/>  | 具体的<br>名称  | 持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針改定版、SDGsアクションプラン2022、横浜市SDGs未来都市計画(2021~2023) |                      |                 |          |
|                                    | 事業の目的<br>(事業開始の経緯)               | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市内事業者によるSDGs達成に向けた取組が停滞する恐れがあるため、新型コロナウイルス感染症対策と市内経済の活性化及びSDGs達成に寄与する取組を同時に進める必要がある。   |  |  |                      |                 |          |
|                                    | 具体的な<br>事業内容                     | SDGs達成及び脱炭素社会実現に寄与する事業を対象とする「SDGs bizサポート補助金」を実施。補助金の交付に加え、採択した事業についてプロモーションを行い、市内さらには市外事業者へのSDGsに取り組むきっかけを広く提供した。<br>本事業は右記に該当するため、以降の記載を一部省略します。 <input type="checkbox"/> 法令に基づく義務的経費 <input type="checkbox"/> 内部事務経費のみ |  |  |                      |                 |          |
| 事業実績                               | 達成指標                             | 指標名(単位)   |  | 平成30年度実績   | 令和元年度実績              | 令和2年度実績         | 令和3年度実績  |
|                                    |                                  | 補助対象件数  | 目標   | -  | -                    | 50              | 15       |
|                                    |                                  |   | 実績   | -  | -                    | 83              | 19       |
|                                    |                                  |   | 目標   |  |                      |                 |          |
|                                    | 実績                               |   |  |  |                      |                 |          |
|                                    | 上記の指標で定量的な設定が困難な理由               |   |  |  |                      |                 |          |
|                                    | 予算額・<br>執行額、<br>事業費の<br>推移       |   |  | 平成30年度   | 令和元年度                | 令和2年度           | 令和3年度    |
|                                    |                                  | 現計予算額   |  |  |                      | 120,000千円       | 33,000千円 |
|                                    |                                  | 支出済額  |  |  |                      | 121,723千円       | 26,462千円 |
|                                    |                                  | 繰越額   |  |  |                      | 0千円             | 0千円      |
|                                    |                                  | 差▲引   |  |  |                      | △ 1,723千円       | 6,538千円  |
|                                    |                                  | 執行率(%)  |  |  |                      | 101%            | 80%      |
|                                    |                                  | 人件費   | 一般職職員  |  |                      |                 | 2.0人     |
| 再任用職員                              |                                  |   |  |  | 0.0人                 | 0.0人            |          |
| 概算人件費                              |                                  |   |  |  | 17,646千円             | 17,646千円        |          |
| 総事業費                               |                                  |   |  | 139,369千円  | 44,108千円             |                 |          |
| 増▲減                                |                                  | —   |  | 139,369千円  | ▲ 95,261千円           |                 |          |
| 事業評価の<br>視点による<br>点検・<br>検証・<br>評価 | 本市が行う<br>必要性                     | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内事業者に対しては、財政的な支援が重要であるほか、SDGs及び脱炭素社会に寄与する事業に対して必要経費等を助成することは、コロナ終息後も見据えた持続可能な事業の経営・運営、さらにはSDGs未来都市・横浜の取組推進にも資するため、本市が実施する必要がある。   |  |  |                      |                 |          |
|                                    | 事業目的に<br>対する<br>有効性              | ・市内事業者の事業提案について、市がヨコハマSDGsデザインセンターと連携して確認・コンサルティング等を行い、補助金を交付することで、脱炭素化・SDGsの達成に向けた効果的な取組を推進することができる。<br>・ヨコハマSDGsデザインセンターにて補助事業のプロモーションを実施することで、より効果的に市内事業者のSDGsの取組を普及することができる。  |  |  |                      |                 |          |
|                                    | 本事業の<br>効率性・<br>類似性              | ・当初予定より多くの申請件数があったが、ヨコハマSDGsデザインセンターとの連携により、申請受付・審査・交付等業務を円滑に実施することができた。<br>・補助対象事業のコンサルティングや申請手続きのフォローを行い、効率的かつ効果的に市内事業者のSDGsの取組を支援した。<br>・コロナ収束後は財政支援に限らず、横浜市SDGs認証制度”Y-SDGs”などを通じた事業者支援の強化が必要である。                      |  |  |                      |                 |          |
|                                    | 市民等外部<br>意見を聴取<br>する仕組みと<br>反映状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無  | 事業を進めていく中で、随時、横浜市SDGs bizサポート補助金有識者審査会にて参考意見を聴取している。 |  |                      |                 |          |
|                                    | 自己評価<br>及び<br>事業見直しの<br>方向性      | 引き続き事業者の脱炭素化・SDGsの取組の拡大や、持続可能な経営・運営への転換を促すため、横浜市SDGs認証制度”Y-SDGs”などを軸に、さらに支援を強化していく。   |  |  |                      |                 |          |
| 本資料は、公正・適正に作成しました。                 |                                  |   | 課長<br>田村 康治  | 係長<br>美田 真   | 係<br>国井 奈菜           |                 |          |